

2018年10月

認定社会福祉士認証・認定機構

スーパーバイザー登録者第4号(1)各位

及びスーパービジョンを受けたことがある社会福祉士各位 (←追加いたしました)

立命館大学産業社会学部
教授 岡田 まり

研究へのご協力をお願い(依頼)

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より私どもの教育・研究にご理解ご協力いただき誠にありがとうございます。

さて、私どもは「社会福祉士のスーパーバイザー養成プログラムの開発と評価」に取り組んでおります。2015年度より2年間でプログラム案を作成し、2017年度と2018年度の2年間でプログラムを試行・評価する計画です。

昨年度、スーパーバイザー登録者(旧区分1)の方々に本研究へのご協力をお願いしましたところ、5回の研修会(Aは3回、BとCは1回ずつ)に延べ139名の方々が参加してくださいました。おかげさまで、貴重なデータが得られ、私たち研究班メンバーにも多くの学びがありました。ご協力くださいました皆様には心より御礼申し上げます。

今年度も、下記のとおりプログラムを実施する予定です。つきましては、プログラム評価にご協力くださる方を募集いたします。この研究の趣旨をご理解いただいたうえでご協力くださる方は、参加申込書をメールで socialworksupervision3@gmail.com までお送りください。研究協力同意書は参加時にご提出くださいますようお願いいたします。定員を超える応募があった場合は、先着順、今年度初参加の方を優先とさせていただきます。

本研究につきましては、認定社会福祉士認証・認定機構理事会にご承認をいただいておりますが、研究協力の有無によって機構からの扱いや評価に影響することは一切ありません。プログラム評価への参加は自由であり、協力を辞退しても不利益を被ることはありません。

本研究は、立命館大学人を対象とする研究倫理審査委員会の承認を得ております。

敬白

記

1. 研究の目的と意義

社会福祉士が高い専門性をもって良質のサービス提供を行うためには、実務経験を積みながらスーパービジョンを受けることが必要です。スーパービジョンが普及した欧米では、多くの評価研究が行われており、スーパービジョンがあるほど有益な実践結果が増え、有害な結果が減少することが実証的に示されています。

わが国でも認定社会福祉士制度においてスーパービジョンは不可欠なものと位置づけられています。しかし、福祉現場のなかにはスーパーバイザー不在のためにスーパービジョンが受けられないというところが少なくありません。また、スーパーバイザーをサポートする仕組みも未整備です。

そのため、本研究では、社会福祉士のスーパーバイザーを養成しサポートするプログラムを開

発することを目的としています。領域・分野を超えてスーパーバイザーに必要とされるミニマムな専門知識と技能を習得するのに役立つ、サポートを得られるようなプログラムがあれば、スーパービジョン普及の一助になり、それが福祉サービスの質の向上と福祉人材の養成・確保につながるものと考えております。

2. 研究協力をお願いする方

認定社会福祉士認証・認定機構にスーパーバイザー第4号(1)として登録されている方で、本研究の目的・方法や個人情報の取り扱いについてご理解・同意いただける方に参加・協力をお願い申し上げます。スーパービジョンの経験の程度は問いません。

また、社会福祉士でスーパービジョンを受けた経験(スーパーバイザーとして)のある方にも協力をお願いすることにいたしました。既にスーパーバイザーとして活動されている、あるいは、スーパーバイザーになる見込みの方々は参加についてご検討下さいますようお願いいたします。

3. 研究の方法(ご協力いただきたいこと)

スーパーバイザー養成プログラムに参加し、評価のためのデータ収集にご協力ください。プログラム参加は、データ収集までご協力いただくことが前提となります。

■プログラム内容

スーパーバイザー養成プログラムは、次のA、B、Cの3部から構成されています。昨年度は、Aを単独で開催しておりましたが、今年度はABセット(2日間)で、内容も若干変更しております。

A スーパーバイザー養成研修(1日) + B 模擬スーパービジョン研修(1日) 各会場定員30名

Aでは、講義と演習を通してスーパービジョンについての基本的な知識・技能を学びます。Bでは、参加者は3人(もしくは4人)1組となって、スーパーバイザー、スーパーバイザー、観察者の役割を体験し、スーパービジョンのなかで直面する課題への対応について学び、実践に備えます。

参加費無料。昼食・宿泊費・交通費の支給はありません。研修に最後まで参加(データ収集への協力を含む)された方には、後日、謝金1万円を参加者個人の銀行口座に振込みます。「謝金支払請求書」に銀行口座番号等を記入のうえ提出していただきますが、その内容は謝金支払いのためのみに使い、支払い後は削除します。

次の2会場で開催します。

- 2018年10月20日(土)・10月21日(日)両日とも10:00~18:00
会場：一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟研修室
(〒108-0075 東京都港区港南4-7-8 都漁連水産会館6階)
- 2018年11月3日(土)・11月4日(日)両日とも10:00~18:00
会場：キャンパスプラザ京都第4講義室
(〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町939)

C スーパービジョンケースのスーパービジョン(1日) 定員調整中

対象は、今年度AB終了者および昨年度A(AB)終了者で、ご自身がスーパーバイザーとしてスーパービジョンを行っている方です。

参加者3人（もしくは4人）とスーパーバイザー1人でグループになり、参加者はグループのなかで順番にご自身のスーパービジョンケースについてスーパービジョンをうけます。1人がスーパービジョンを受けている間、他の人はその様子を観察します。スーパーバイザーは、昨年度まで認定社会福祉士認証・認定機構が開催していた「更新スーパービジョン（集合研修方式）」のスーパーバイザーです。

参加費無料。謝金はありません。
昼食・宿泊費・交通費の支給はありません。
次の2会場で開催します。

- 2019年2月2日（土）10：00～17：00 会場：東京（調整中）
- 2019年2月3日（日）10：00～17：00 会場：東京（調整中）

■データ収集

プログラム評価のために、次のようにデータを収集させていただきます。

- ① プログラムの開始前と終了後に、参加者にチェックシートへの記入をお願いします。
- ② グループでの話し合いは録音し、発表に使用した用紙は回収します。
- ③ プログラム実施中の様子を観察・録画（固定ビデオ1台）させていただきます。
- ④ フォローアップやデータの確認のためにご連絡を差し上げることがあります。

プログラム内容やデータ収集につきましてご不明な点がございましたら、研究者より説明させていただきますので、ご遠慮なくお尋ねください。

4. 研究への参加の同意と撤回

研究にご参加いただくかどうかは自由です。参加に同意していただけない場合でも、何ら不利益を受けることはありません。また、参加に同意していただいた場合でも、理由を問わず、いつでも同意を撤回し、参加を中断することができます。そのことにより何ら不利益を受けることはありません。

同意を撤回して参加を中断される場合、お申し出があれば、チェックシートのデータについては破棄しますが、会場の様子を録画した記録や会話の録音記録からは同意を撤回された方の記録のみ除外することができませんので、その点はご了承ください。

5. 研究に参加することにより期待される利益

本研究に参加されることにより、ソーシャルワークおよびソーシャルワーク・スーパービジョンについての知識・スキルの獲得・改善、心理的なサポートを得ることが期待されます。

A スーパーバイザー養成研修（1日）+B 模擬スーパービジョン研修に最後までご参加いただいた方には、後日、謝金1万円を個人の銀行口座に振り込ませていただきます。Cにつきましては、謝金はありません。

6. 研究に参加することにより予測されるリスク、危険、心身に対する不快な状態や影響

研究への参加により心身の疲労を感じる可能性があります。また、参加を通して得られた気づきや他者の言動により不快な思いをしたり、心理的な落ち込みを経験したりする可能性があります。しかし、これらは通常、危険なレベルにはなりません。

7. 研究成果の公表の可能性

研究の成果は、学会発表や学術雑誌への投稿、日本社会福祉士会や認定社会福祉士認証・認定機構のホームページを通してフィードバックします。参加者の個人情報には公開せず、個人が特定できないようにします。

8. 個人情報の取扱い

取得した個人情報は、研究目的以外には使用しません。個人情報は、研究代表者の責任の下で厳重に保管し、取り扱うものとします。個人情報を保護するために、参加者のお名前は研究データから取り除き、符号に置き換えて管理いたします。データ分析のため、またデータの開示や廃棄のご希望にお応えするために符号とお名前の対応表を作成いたしますが、対応表は鍵のかかる棚にて厳重に保管します。なお、会場の様子を録画した記録や会話の録音記録から特定の方の記録のみ除外することはできないので、これらのデータについては開示や廃棄のご希望にお応えすることができません。成果公表時には、個人が特定されないようにいたします。また、一度論文等にて発表されましたら、記載内容の修正はいたしかねることをご了承ください。

研究データにつきましては、学会発表や論文発表後に事後の検証ができるように、また、状況の推移をみるために将来、同様の調査を行う可能性がありますので、保管いたします。

「謝金支払請求書」にご記入いただいた内容は謝金支払いのためのみに使い、支払い後は削除します。

9. 研究に関する資金源

この研究は、平成 27 年度～平成 30 年度科学研究費補助金事業基盤研究 (B)「社会福祉士のスーパーバイザー養成プログラムの開発と評価」課題番号 15H03440 (代表：岡田まり) の一環であり、科学研究費補助金の交付を受けて実施します。

10. 研究班

この研究は次の研究者らによる共同研究です。

研究代表者 岡田 まり (立命館大産業社会学部教授)
研究分担者 野村 豊子 (日本福祉大学社会福祉学部教授)
研究分担者 潮谷 有 二 (長崎純心大学文学部教授)
研究分担者 片岡 靖子 (久留米大学文学部准教授)
研究分担者 潮谷 恵美 (十文字学園女子大学人間生活学部教授)

11. お問い合わせ先

プログラムおよび研究内容に関するお問い合わせにつきましては、次の本研究専用メールアドレス、あるいは研究責任者までご連絡ください。

本研究専用メールアドレス：socialworksupervision3@gmail.com

研究責任者： 立命館大学 産業社会学部 教授 岡田まり
〒603 - 8577 京都市北区等持院北町 56 - 1
Email：m-okada@ss.ritsumei.ac.jp
電話：075-466-3371 (研究室直通)

また、研究者の研究倫理等に関する問題が発生した場合は、立命館大学 衣笠リサーチオフィス <email:k-rinri@st.ritsumei.ac.jp>までご連絡ください。

以上

研究協力同意書

立命館大学産業社会学部教授
研究代表者 岡田 まり 宛

研究題目：「社会福祉士のスーパーバイザー養成プログラムの開発と評価」
(平成 27 年度～平成 30 年度科学研究費補助金事業基盤研究 (B))

私は上記研究の実施にあたり、説明文書を用いて説明を受け、以下の項目について理解したうえで、この研究に参加・協力することに同意します。

1. 研究目的
2. 研究の方法
3. 研究への参加は自由であり、いつでも中止できること
4. 同意の拒否や撤回、研究協力の中断をしても不利益を被らないこと
5. 疑問や質問が生じた場合には、研究者から説明がなされること
6. 個人情報が保護されること
7. 研究で得られたデータは研究目的以外には使用されないこと
8. 研究成果は公表されるが、個人を特定できるような情報は公開されないこと

日付 年 月 日

参加者氏名 _____

説明者氏名 _____